

# 統計グラフコンクールを活用して

岡崎市立南中学校 櫻井 章二（令和元年8月作成）

## 1 活動内容・目的

数学科の授業では、数字や文字を学び関数や確率に活用への範囲を広げている。そして生徒たちは効率的な計算方法や解き方を学び、テストの点数を上げることに躍起になっている。

我々が授業を進めていると、生徒からときに「数学を大人になって使うことがあるか。」と質問されることがある。確かに方程式や関数を使いながら問題解決を進めることは滅多にない。しかし、現代においては知らないうちに数学が使われ、数字によって判断することが行われることが多い。これを視覚化するのがアナリストであり、メディアのさまざまな場面でその活躍が見られているのも現実である。

統計グラフコンクールという機会を活用し、数字から読み取れることや数字によって裏付けられることを目に見える形にすることを実践していく。また、決められた紙面の中にグラフを意図的に配置することで紙面やグラフの有効活用ができるように指導していく。

## 2 日程（令和元年度の例）

<6月中旬>

期末テスト範囲発表に合わせ、情宣する。夏休みの自由研究の1つとして統計グラフコンクールに挑戦してみようと考えている生徒を昼休みに集める。

<7月上旬>

説明を聞いてコンクールに参加する意志を固めた生徒に、ルールを伝え前年度の優秀作品を紹介する。アンケートを取りたいと考えている生徒には、その内容を担当教諭と確認し、修正する。

<7月中旬>

アンケートを印刷、配付し回収作業と集約を進める。アンケートの性格を認識し、多学年に配るのか、多クラスに配るのか確認する。

<8月下旬>

一定期間P C教室を開放することで作業できる場所と時間を提供する。作業中の質問に答えたりアドバイスしたりできるようにする。

<11月岡南祭（文化祭）>

生徒作品展示では、展示スペースを用意し、活動の成果を全校に知らせると同時に、次年度への啓蒙の一環とする。

## 3 主な指導・成果

平成29年度 愛知県統計グラフコンクール

銀賞2点 銅賞1点

平成30年度 愛知県統計グラフコンクール

金賞2点 銀賞1点 銅賞1点

